

## カメラ・レンズ市場向け ドアレス恒温恒湿槽のご提案

### カメラ・レンズの温度特性試験に対応

スマートフォン搭載のカメラ、一眼レフカメラ、デジタルカメラなど、実際の使用環境を想定した動作評価を行い、現場での安定性や性能を検証することが不可欠になります。評価の精度を高めるには、槽内の風を抑えて評価スペースを安定させる必要があります。そこで今回は、評価空間を微風状態に保てるドアレス恒温恒湿槽をご紹介します。

### 特徴

#### ● 製品の評価において微風状態を実現できます

- ・槽内が微風状態であることにより製品本体の表面に湿気がたまる事を防ぎ、くもりや結露の発生を抑制できます。
- ・微風状態で評価することで実際の使用環境に近い放熱条件となり、熱応答試験の信頼性が高まります。

#### ● 観測窓がないため、槽内から外の被写体をスムーズに撮影できます

- ・槽内にカメラを入れた状態で外部に設置したテストチャートを撮影でき、解像度・ピント精度・歪みなどの性能を確認することができます。
- ・観測窓がなく反射しないため、鮮明に撮影することができます

#### ● 振動が少なく、信頼性の高い試験が可能です

- ・レンズやセンサユニットなどの精密部品に振動が伝わりにくく、ピントずれや光軸ずれが軽減されます。



## 試験事例

試験名	試験条件	試験目的
オートフォーカス精度・速度試験	-10°C～+80°C	・ピント精度、レスポンス変化速度の確認。
ズーム操作試験		・ズームリングのトルク測定。
レンズ・部材の結露試験	+40°C 80%RH	・レンズ内部や接合部の結露の確認。
高温試験（高温放置）	+60°C～+85°C	・耐熱性、接着剤・コーティングの耐性確認。
低温試験（低温放置）	-15°C～+40°C	・寒冷環境での材質変化や作動性確認。
高温動作試験	+50°C～+60°C	・実動作中の耐熱性評価。
温度保持による光学性能評価	+60°C（または-15°C）	・部品の膨張収縮によるピントずれや 光軸ずれ解像度変化の確認。 ・グリスの軟化・硬化の確認。

## ドアレス恒温恒湿 ラインナップ一覧

型式	LST134	LST265	LST234W-PF	LST365W-PF
温度範囲	-15°C～+80°C	-15°C～+80°C	-15°C～+80°C	-15°C～+80°C
湿度範囲	成り行き	成り行き	40%RH～80%RH	30%RH～80%RH
槽内寸法 WHD (mm)	796×660×460	1020×770×660	796×660×460	1020×770×660
外形寸法 WHD (mm)	950×1690×1050	1170×1790×1290	950×1690×1050	1170×1790×1290
電気容量	3相AC200V 30A	3相AC200V 30A	3相AC200V 30A	3相AC200V 40A

\* 仕様の詳細につきましては、カタログ情報をご確認ください。

\* ご不明点は営業担当者までお問い合わせください。



## エスペックサーマルテックシステム株式会社

**本社** 住所：埼玉県戸田市美女木東 1-2-15  
TEL : 048-423-1800 FAX : 048-423-1801

**神戸事業所** 住所：兵庫県神戸市東灘区御影石町 1-6-6  
TEL : 078-856-5181 FAX : 078-856-5186

- 各営業所へお問い合わせください。
- 本リーフレットに掲載のサンプルはイメージです。
- 製品の改良・改善のため、仕様および外観、その他を予告なく変更することがあります。
- あらかじめご了承ください。